

平成30年度 指定管理者導入施設評価表

施設名称	須坂市笠鉾会館ドリームホール	所管課(TEL)	生涯学習スポーツ課	
所在地	須坂市大字須坂410番地1	設置年月	平成7年12月竣工	
施設設置目的	笠鉾・屋台を保管、展示するとともに、市民の生涯学習推進等の場を提供し、市民文化の向上に資するため			
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造、地上3階、延床面積1213.32㎡ 展示ロビー、笠鉾屋台展示ホール、ラウンジ、ギャラリー、企画展示室、会議室、事務室（須坂市指定有形民俗文化財、笠鉾・屋台を展示）			
指定管理者名（選定方式）	一般財団法人 須坂市文化振興事業団（公募しない）			
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで（5年間）			
指定管理者の主な業務	(1) 利用の許可、許可の取消し並びに利用の制限及び停止に関する業務 (2) 施設及び備品等の維持管理に関する業務 (3) 利用料の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 文化芸術の振興及び普及のために実施する事業に関する業務			
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対前年比(%)
	利用者数	—	17,792人	98.3
	(特記事項) 利用目標は、五次総後期基本計画では、毎年0.5%増を評価指標としている。			
指定管理者の 予算及び決算	項目	予算額(円)	決算額(円)	
	指定管理料			
	利用料収入			
	支出額合計			
(特記事項) 文化会館に同じ				

2 市（担当課）による評価 （評価は非常に良い◎、良い○、やや悪い△、悪い×の4段階です。）

協定書及び指定管理者の事業計画書の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価したものです。評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

項目	指 標	評価	評価に対する説明
管理状況	開館時間、休館日の運用	○	本年度から木曜休館日（及び年末年始）
	法令の遵守	◎	定款等により遵守している
	適正な人員配置	○	
	職員の労働環境確保	○	
	職員の研修・教育	○	
	文書・帳簿の管理保存	○	
	報告書等の提出	○	
	口座管理・経理	◎	適正に管理している
	施設の使用許可・条件	◎	適正に管理している
	備品の管理	◎	適正に管理している
	清掃業務	◎	適正に管理している
	環境への配慮	○	
危機管理対策	緊急事態の対応	◎	危機管理マニュアル等に対応している
	安全への配慮	◎	危機管理マニュアル等に対応している
	個人情報の保護	◎	須崎市個人情報保護条例（平成13年条例第35号）第12条の2の規定を遵守している
	施設設備の保守管理	◎	主管課と密な相談をしている
	重要事項の報告・連絡・届出	◎	主管課と密な相談をしている
	保険の加入	◎	協定書に基づき加入している
	管理物件に対する損害賠償等	○	
運営状況	施設利用状況	○	
	自主事業実施状況	○	
	地域との連携	○	
	その他取組み	○	
	管理に係る収支状況	○	
	自主事業に係る収支状況	○	
	サービス向上への取組み	○	
	PR等広報活動	○	
	苦情・要望への対応	◎	アンケート等に対応している

### 3 利用者による評価

指定管理者が行なった利用者アンケートの結果及び、担当課に寄せられた利用者からの意見・要望等によるものです。

利用者アンケートの結果	実施時期	平成30年度
	調査対象	来館者
	調査方法	アンケート用紙記入方式
	調査結果	38人回答
利用者からの意見・要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笠鉾と屋台の美しさ、特に屋台の美しさ、素晴らしい作りに感動しました。後世まで長く残していただけなければと強く思いました。</li> <li>・市内にいながらかなか足を運べず、こんなすばらしい会館だとは知りませんでした。通勤族なので街の様子はよくわからず、残念に思いました。これからは絹で栄えた須坂を散策したいと思います。</li> <li>・展示物も多く無料とは思えないほどに楽しめました。係員の対応も心配りがあり大変気持ちよかったです。</li> <li>・歴史ある町並みに驚いた。皆親切な案内をしてもらい良い一日だった。</li> <li>・笠鉾を見ながら演奏が聴けて、伝承伝統文化と音楽のコラボを楽しめて感動した。</li> <li>・展示ホールは圧巻。須坂にいろいろあるのを発見し、街の方も親切でまた来たいと思った。</li> <li>・おひな様を数多く見ることができ、各所のおもてなしの気持ちにふれて充実した旅となった。</li> <li>・歴史的に重要な文化財を見れて、自分のまちの祭りとも共通するところもあり感動した。</li> <li>・東京から松本に移住して二ヶ月、信州の文化を知りたいという欲求にかなうものでした。京の都への憧れがこんな立派な祭りに発出し、今も継がれていることに感動した。これからも次世代へと継続されていくことを望みます。</li> <li>・地元を大切にし皆の温かい心を感じました。</li> <li>・14段の雛段が壮大で驚いた。</li> </ul>	

#### 4 指定管理者による自己評価

指定管理者自身による自己評価です。

平成30年度の自己評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・須坂市出身の鑄金作家の個展を開催し好評を受けました。</li><li>・「笠鉾を知ろう」として、毎月コンサート、ワークショップを開催し、市内外の方が来館され感動されました。</li><li>・「いにしへの祇園祭」「須坂伝統芸能フェスティバル」を、銀座通り周辺で行われた「信州須坂 蔵のまちまつり」に合わせ、伝統芸能保存に寄与しました。</li><li>・年間入館者数は17,792人で対前年比98.3%と減少しましたが、イベント等「うまいもん市」や「蔵のまち春まつり」などと連携することができました。</li></ul>
-------------	---

#### 5 市（所管課）による総合評価

<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の管理、危機管理は良好</li><li>・無料施設ではあるが、区の文化財である笠鉾、屋台の保管、展示を行いながら、ワークショップにも力を入れ、生涯学習の場を提供している。</li></ul>
--